

会 議 録

会議録	平成 28 年度 第 12 回 長洲町教育委員会会議
招集年月日	平成 29 年 1 月 31 日（火）午後 2 時
招集場所	長洲町役場 3 階第 1 委員会室
出席者	松本教育長、大山教育長職務代理者、木下委員、田中委員、隈部委員
欠席者	なし
職務説明責任者	藤井学校教育課長、松林学校教育課長補佐
会議録作成者	松林学校教育課長補佐を指名

日程番号	事件番号	事 件 内 容
第 1		議事日程について
第 2		会議録署名委員の指名について
第 3	協議第 14 号	学校給食について (学校教育課)
第 4	報告第 25 号	生徒指導について【非公開】 (学校教育課)

【会議録】

事務局：皆さまこんにちは。只今から、第 12 回長洲町教育委員会会議を開催いたします。なお、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 13 条第 1 項に基づき、会議の議事進行を教育長にお願いします。

教育長：はい、皆さまおはようございます。本日は、出席委員が定数に達しておりますので、この会議が成立することを報告します。

あらかじめ、お諮りします会議の議題は、事前に通知したとおりでよろしいでしょうか。

各教育委員：はい。

教育長：次に日程番号第 4 報告第 2 号は個人情報等が含まれますので、非公開としますが、よろしいでしょうか。

各委員：はい

教育長：日程番号第 1、議事日程について、本日 1 日間とします。よろしいでしょうか。

各委員：はい

教育長：日程番号第 2、会議録署名委員の指名について、大山委員を指名します。

大山委員：はい、お受けいたします。

教育長：日程番号第 3、協議 2 号について、事務局から説明をお願いします。

学校教育課長：協議第 2 号「学校給食について」別紙のとおり協議方お願いします。平成 29 年 1

月 31 日、長洲町教育長 松本 昇でございます。

(以下、別紙資料にて説明)

教育長：今の件について、ご質問、ご意見ございませんか。

学校教育課長：今回、協議案件を提出しましたのは、1 月 17 日の議会の建設経済文教常任委員会の中で、学校給食について協議案件となっております、ご存じのとおり学校給食は、平成 20 年 4 月から荒尾市の給食センターに委託しておりますけれども、荒尾市の方もだいぶ老朽化も進んできているという事で、給食センターそのものの在り方、必要性等について、教育委員会はどのように考えているのかという質問がございました。平成 20 年度の委託の際は、平成 19 年度にその内容について、教育委員会会議で協議がなされておりますが、それ以降、委託の期間内に町の給食センターについて、どのように持っていくのかといった協議については、教育委員会では、特に協議はなされていませんでした。度あるごとに、議会の一般質問では、あっておりますが、平成 26 年度、27 年度の際には、当時の大山委員長や町長の方から答弁等もあっておりますが、その後、具体的な方向性等について、教育委員会、町での協議がなされていないのかなと思います。では、実際にどのように考えるのかということですが、教育委員会に諮って、その方向性を協議、検討し、その結果を、常任委員会でお示ししていただきたいという事で、今回、協議案件にさせていただいております。

(資料を基に説明)

大山委員：現在、試算しているのが、町が負担するのは、年間約 330,000 千円ということですが、起債を含めると、年間約 650,000 千円ということで、差があるからですね、長洲町で以前、給食センターを運営していた時のというのは、町の支出が多くて、荒尾に委託した方がよいとなったのは、どうなんですか。元々は、かなり負担していたのか。

学校教育課長：手持ちの資料で平成 18 年度の資料ですと、町単独で運営していたときで、680,000 千円ほどの予算を、運営費のために経費がかかっていました。大半は、人件費であろうと思います。

各委員：すごい金額ですね。

大山委員：理由と言うのは、センターが老朽化して、使えなくなったからか。

隈部委員：6 億 8,000 万が 3 億 3,000 万で済んでいるということか。

木下委員：以前はセンター方式、その前は自校給食だった。財政面で浮いた。ある面で必要かなと思う。財政的に厳しいのでしばらくはこの形で進んでいくのがベター。

大山委員：地域懇談では長洲町で単独でやってほしいとの意見、おいしくないという意見、距離が遠いので冷えているなどの意見が出る。町の財政状況に絡んでいくから無理は言えない。とてもじゃないが建て替えられなかった。しかし、赤字はなくなったので町民の要望に応えられるのではないか。

隈部委員：おいしいのにこしたことはないが、そんなにまずいのですか。会社食堂でもよくまずいと言っているが私はまずいとは思はない。一人一人の好み、親が食べもしないでまずいと言うのはおかしい。

木下委員：3 億 5,000 万の違いがあるなら共同ですべき。

田中委員：荒尾に代わって、残滓が増えたと聞いた。食育は十分できる。冷めていることや要望が届きにくい。長洲にできればよくなっていく。

木下委員：アレルギー対応などの問題がある。保護者への啓発活動がいる。

隈部委員：理想は愛情のこもった弁当。

田中委員：荒尾の滞納者は多いんですか。4月、5月はデザートが出ていたが12月は全く出なかった。質問したら給食費滞納が多くて予算がひっ迫していると聞いた。

木下委員：食育については各学校計画ができています。栄養教諭が学校に出向いて授業もしている。

教育長：給食センターの建て替えなどを話し合う会議を設立する必要がある。荒尾市に要求していきます。

教育長：それでは、この件はこれで終わります。

教育長：日程番号第4、報告第2号 生徒指導について、説明をお願いします。

藤井課長：報告第2号 生徒指導について、このことについて、別紙のとおり報告します。

平成29年1月31日提出、長洲町教育長 松本 昇でございます。

(以下、別紙にて説明)

【非公開】

教育長：それでは、この件はこれで終わります。これで本日の全日程を終了します。